

302	<p>もう30年以上昔の子どもたちですが、持ち上がりで2年間担任しました。1,2年を担任することが多く、同窓会は、きつと呼んでももらえないだろうと呟いたことがあったのかなかったのか忘れましたが、中2の時に、同窓会をしてくれ発起人は、クラスでもあまり近いと思っていた子で、どちらかという、よく叱っていてつかみどころのない思っていて、きつと叱られてばかりで恨まれてるだろうなと思っていた子だったためビックリしました。ました。その学校を退職後、その子たちを担任して1年後に退職しました。が、退職後数年経ってその子達が高学年になったとき、私の誕生日に寄せ書きでおめでとうの手紙が届いたこともありました。封筒にバッチリ年齢が書いてあって…(笑)その子たちとは、縁があるようで、今まで卒業式の案内には、次の勤務があり出席したことがなかったのですが、たまたま空いていたので、出席させてもらうことができ、文集の中に、素敵なコメントを書いたくれている子もいて嬉しかったです。その後も、子どもたちと会う機会があり、受験勉強をしている子が、わざわざ会いに来てくれて話す機会があり、子どもたちが、当時なんて大人だったんだろうと感心したのを覚えています。数年前、大病をして、今までのように学級経営ができなくなり、更年期というのもあったのか、仕事を続ける自信がなくなり仕事を辞めようかと悩んでいたことがありました。そんなとき、たまたま、そのクラスの子がメールをくれたので、思わず悩んでいることを書いてしまいました。すると、辞めないでというような内容のメールを返してくれました。。それで、もう一度続けてみようと思いました。20代前半で、未熟極まりなく、瞬間湯沸かしのような性格の私でしたが、思いやり溢れ大人な子どもたちのおかげで、その学校は、無事勤めあげることができました。その後も40年近くも仕事を続ことができました。</p>	303	<p>過去に3人、私にとって思い出深い生徒がいます。彼らは同学年ではありません。1人は27年前、1人は21年前、そして1人は3年前の卒業生です。彼らは、大学受験の時期を迎え、日本の大学ではなくて海外の大学へ入学し、卒業したいという希望を持っていました。偶然にも、3人はオーストラリアの大学を希望していました。私は幸運なことに、勤務してからオーストラリアで1年間日本語を教える機会に恵まれ、帰国後、折に触れ、自分自身の経験をよく話しました。彼らにとって、オーストラリアが身近に感じられたのかもかもしれません。ただ私には、海外の大学を卒業させた経験はありませんでしたので、全く新しい経験でしたが、何とか夢を叶えてやりたいという思いで、できる限りのサポートをし、2人は自己の未来を切り拓き素晴らしい人生を送っています。そのうちの1人は、現在オーストラリアの公立中学校で正規の教員として活躍しています。最後の1人はコロナ禍の困難な状況の元、現在オーストラリアで学んでいます。夢を叶えてくれることを期待しています。彼らは1年間の短期の留学ではなく、入学して卒業するまで、頑張ることは大変な努力を必要とすることだと思えます。困難が予想される未来へ、臆せずに挑戦した彼らは立派な志を持って自分自身の未来に踏み出したのだと思えます。</p>
304	<p>2年前に担任していた子どもたちのことです。ちょうど反抗期にもあたり毎日生徒指導や保護者対応に追われる毎日でした。途中から担任になったこともあり、上手くいかないこともたくさんありましたが、わたしなりに子どもたちに毎日向き合い続けました。あともう少しで卒業というところでコロナウイルスのために一斉休校となり、卒業式の日が最後の登校となりました。卒業式の日、一斉休校という今までにない事態もあってか、普段の姿とは考えられない程真剣に卒業式に臨む子どもたちの姿がありました。卒業式後に『当たり前の日々が当たり前ではない。とても幸せなことだから、毎日の日々感謝してこれから過ごしてほしい。』と話す真剣に話を聞いてくれました。たくさんの保護者からも感謝の言葉をいただき大変ありがたかったです。そして、最後に一番たくさん向き合い続けた子どもから『先生に担任してもらって本当に良かった』ということを書いた手紙をもらったときは涙が止まりませんでした。そんな子どもたちも今年中学3年生になり、受験という人生の岐路に向かっていきます。自分の納得のいく選択が出来ようになっていってくれたらと思います。</p>	305	<p>かつて中2を担任したとき、5月にA君が白血病で入院した。クラスのなかまたは彼の快復を信じて、彼を励ますために、何度も何度も、手紙を書いたり、ビデオレターを撮影したり、千羽鶴を折ったり…。入院してから一度も教室に戻ることのなかった彼だったけれど、いつも心は、なかまたちと共にあったと思う。春休みのバレーボールの試合では、A君の遺影をベンチに、心一つに勝ち進み、近畿3位を勝ち取ったなかまたち。思いを一つにすることは、信じられないほどのエネルギーになるのだと教えてくれた。教室でも、学校行事でも、沖縄修学旅行でも、いつも彼の遺影が一緒だった。亡くなる直前まであきらめず病氣と闘い続けたA君のことも、「Aが見てくれる」「Aに恥ずかしくない生き方をしたい」そう言っていたなかまたちのことも、忘れられない。春、梅の花が咲く頃になると、Aくんが亡くなった朝、青空の下、満開の白梅が香っていたことを思い出す。10年以上経った今でも、思い出すと涙が出てきてしまうけれど、卒業までの2年間あなたたちを担任できたことを、私は今も誇りに思っている。</p>
306	<p>私(夫)が初めて担任した26人の中に同姓の子が3人、1人は男の子で素直でとても元気、ポツチャリ体型でよく動く皆の人気者です。入学式の後記念写真を撮りに近くの梅林に行ったときの出来事、はしゃぎ過ぎた彼は赤土の崩れた土手でずってんころり、お尻から背中まで下ろし立ての綺麗な学生服が泥まみれ、皆はいつものことかの様子で呆れるやら大笑いするやらで中学生活がスタートしました。その彼はバレー部に入り想像つかないほどスレンダーで実力の持ち主に成長し卒業していきました。その彼が先日奈良TVの番組で奈良漢方薬のCM解説者として出演してはなりませんか。体型は入学当時にタイムスリップしたようです。今は奈良県の産業振興に頑張っているようですが、明るく活発な様子は表情からも観てとれ、懐かしくうれしく当時は思い出しました。今となれば少人数の学校なだけに一人ひとりのことがよく思い出されます。どの子も自慢の子どもで担任させていただいたことを感謝しています。</p>	307	<p>心に残る子どもたち、振り返ると、多くの子どもの顔が浮かんできます。そのうちの一人は…。中学に入学して間もない頃、朝、とぼとぼと登校してきて、挨拶をしても返ってきません。非常に心配しました。やがて教室に入れなくなり保健室登校が始まりました。保健室でもほとんど話すことなく、1時間も経たずに帰って行く状況でした。先生方は粘り強く関わってくれました。やがて、学年が上がり、少しずつエネルギーが湧いてきたようでした。自教室の前まで給食を受け取りに行き、保健室で食べられるようになりました。3年生になると、別室に登校するようになり、その部屋の机の配置などもよりよくアレンジしようと自らの意思を表し、行動できるようになりました。自教室で授業も受けました。そして卒業し、自分が選んだ進路に巣立っていってくれました。子どもには元々エネルギーが内在しています。それを引き出す環境をどのように作るのか、教育の大きな課題だと思えます。</p>

308	<p>小学校で勤務していたとき、私は支援学級で同じ児童を3年間担当しました。最後の年は卒業学年でしたが、それまで自分から友だちを誘って遊ぶことはありませんでした。卒業を控えたある日、帰りの会が終わると突然椅子を円形に並べたあと、友だちを引っ張ってそこへ集め始めたんです。何をしようとしているのか分からなかったのですが、椅子の周りを歩き出したときに、「フルーツバスケットや！」とみんなと一緒に遊んでくれたんです。重度の知的障害がある子どもだったので、みんなと同じ授業を受けることは少なかったのですが、仲良くしてくれた友だちに対して、彼女なりにいろいろ感じていたことがよく分かりました。その子とは縁があって、小学校だけでなく、養護学校でも同じ学校で過ごさせていただき、中学部・高等部の卒業式を見守ることができました。たくさんの子ともたちと関わってきましたが、いちばん印象に残っている子どもです。</p>	309	<p>初任の時、小学三年生を担当していました。慣れない教師生活に戸惑いながらも、すぐ懐いてくれた子供たち。その子たちが卒業する時、三年生の時の思い出と一緒に語らい、笑顔で送り出しました。自分の受け持った学年が卒業していく初めての経験に涙も流しました。当時は辛かったこともあります。子供が成長していく姿が最大の励みになるのだと改めて思いました。また、第一子が生まれる頃、何度も教室を空けてしまって迷惑をかけた子供たち。しかし、赤ちゃんが生まれたと知らせると、みんなとても喜んで祝ってくれ、赤ちゃんに被せる帽子やお守りを折り紙などで作ってくれていました。保護者の方にも伝えていた子がいるようで、お祝いの電話をわざわざかけてきてくださる方もいました。自分の子供も将来小学生になると考えると、子供たちとのふれあい方もさらに楽しく感じています。</p>
310	<p>初任として赴任した中学校は、県下でも大変教育活動が厳しい学校でした。家庭状況が厳しく、十分な教育を受けることなく、生徒自身がその波にのまれ、生活が乱れ、自身の行動自体も道を外れた道に行く者も多くいました。しかし、時を経ることで自分を見つめ直し、成長していく者も多くなります。そのような生徒たちが新たな生活を確立し、今は、良き親となって子育てしている姿を見ると、感慨深いものがあります。なかには、我が子の学校のPTA活動の中心となって活動したり、地域活動や地域スポーツに貢献している者も多数います。数十年前の姿からは想像できない活躍ぶりです。現在も学校現場で日々子供たちや保護者と奮闘している先生方は、いつになるか確約はないものの、必ず良い結果が残ることを信じて、自分自身の教育活動を信じて、邁進してもらいたいです。具体的な生徒の紹介ではなく、申し訳ありません。</p>	311	<p>大人しくてあまり話さないけど自分で遊びを見つけてコツコツと集中して遊んでいたタカシくん。穏やかでいつもにこにこしていました。泣き虫で甘えん坊のひでゆきくん。身体は小さかったけど走ったり外で遊んだりが大好きでした。新任の頃に出会ったこの子どもたちに、30年後に同じ園に園長として戻った時に再会しました。しっかりとサポートしてくれる奥さんとの出会い、可愛い子どもさんを儲けていました。子どもの顔を見たくすぐ幼かったあなたたちを思い出しました。立派に家庭を築いていることが嬉しく、感激しました。小さい頃のあなたたちを丸ごと受け入れ、一つ一つの成長を見守り、保護者の方と一緒に喜び合ったことは間違いではなかった。小さい頃のあなたたちにそっくりの幼な子を見て、この仕事を選んでよかったと思いました。今も孫のような子どもたちの近況を知らせてくれます。</p>
312	<p>毎日がコロナウイルスとの戦いです。誰かが陽性になり、その子が戻ったらまた別の子が濃厚になる。など、毎日が慌ただしい日が続いています。教師だけが大変なように思われますが、実はそうではなく、子どもたちが1番大変だと思えます。リモート学習というのはもちろんいい面もありますが、音が聞こえない。字が見えにくい。なかなか1人ではできない子ももちろん在籍します。そんな中でも、毎日僕よりも早くにパソコンを立ち上げ、一文字ずつローマ字で一生涯懸命に文字を打つ姿に連日心を打たれています。ノートなら日本語で書けるのに申し訳ないなあと思いつつ、一生懸命打った文字にローマ字が混じっていたり、っ が抜けていたり。ひたむきに指一本で教科書のローマ字表と睨めっこしながら入力する姿が、見たわけではありませんが、最近心打たれたことであります。</p>	313	<p>初任の時、2年生の担任をしていた。最後の日、修了式が終わると、「先生、まだ教室入ったらあかんで！」と子どもたちが言い、教室の中で何か準備をしてくれていた。「もういいよ！」と言われ、教室に入ると、全員で起立して、「先生、1年間ありがとうございました！」と言ってくれた。黒板には先生ありがとうの文字と可愛い絵がかかかれていて、手作りのくす玉があった。「引っ張って」と言われて引っ張るとちゃんと割れて、なかから紙などがヒラヒラ落ちた。そして「次は歌います！先生ピアノ弾いてください！」と言われ、思い出の曲を弾いて合唱した。初任の頃は子どもたちに申し訳ない気持ちでいっぱいだったが、2年生でこうして人の喜びの為に何かしたいという子供たちの心が嬉しかった。今も教師を続けようという原動力になっている。</p>
314	<p>初任校での初めて担任した子ども達、初めての高学年を担当した時の子ども達です。様々な家庭環境の中、いろんな思いを抱えて登校してくれていました。中でも、父親の飲酒癖のために登校できなかった子がいました。迎えにいった二階から脱出させました。遠足の弁当やカップメんの箱は黙って受けてくれました。彼の気持ちはどんなだったのだろうと思うことは何年も続きました。20年後初任校に戻った私は、参観授業が終わってホッとしたときに廊下の人影に気づきました。彼でした。「先生、変わってへんな。俺は寿司屋やってんねん。もう食べ物に困ってへんで」と、小学生の時から変わらないイタズラっぽい顔で立っていました。一生懸命生きてきたんだと、感無量でした。彼をはじめ、初任で関わらせてもらった子ども達の話は、ずっと忘れられません。</p>	315	<p>勤務年数も長くなり、心に残る生徒もそれなりに多いですが、そのうちの一人が若いころに勤務した中学校がずいぶん荒れていた時に担任した生徒です。毎日のように問題を起こして追いかけてまわし、ほぼ毎晩家庭訪問。ご家庭の仕事の関係でいつも21時や22時になって、保護者からもうんざりされていました。やっと入れた高校もすぐにやめてしまい、翌年なんとか行ける高校はないかと相談されて、切ぎりぎりぎり県教委へ走ったのが思い出されます。そんな彼も今では自動車関係のお店で店長をするまでになり、私の自家用車も彼のお店でお世話になっています。彼と会うたびに当時のことを「あの時こんなムチャなことやらかしたよな」「いや、ガキだったんすね～」などと笑い話にできるようになったことは、自分の中で癒される時間になっています。</p>

316	<p>前任校で2年から担任をした生徒に、高校の環境になじめず、学校に来てもたびたび保健室に行く生徒がいた。授業に関しても集中して聞く様子もなく、テストの結果は散々であった。保健室に行くたびに、担任としていろいろ話をしたが、なかなか変化は見られなかった。ただ、進路が近づくに連れて、その子自身の中で目標が見つかった時に、スイッチが入り、必死に勉強するようになった。結果、第一志望ではないが、看護専門学校に合格を果たした。卒業後、「当時はあまり話が入らなかったが、卒業してからは先生から言われたことを大事にして高校のときのようにならないように頑張っています。」ということ聞いた。教育はすぐに結果が出ないこともあるけれど、思いは通じると信じてこれからも頑張っていきたいと考えています。</p>	317	<p>六年生を担当し、運動会の組み立て体操の練習をしていた時、あまりにも子ども達がダラダラしていたため、まだ時間はありましたが練習を中断して教室に戻らせ、普通の授業を行いました。午前中の授業が終わり、給食時間に一人の児童が、「先生、笛を貸して下さい。」と言うので貸すと、昼休みに学年全員の子供達が運動場に集合して行進の練習を始めました。おそらく給食準備中に各クラスの何人かで相談して、それぞれのクラス全員に声をかけをし、始めたのだと思われる。子ども達の自主性に感動したことを今でもはっきりと覚えている。もちろんのこと、その年の運動会での組み立て体操は大成功で、教師も親も子ども達も大満足の運動会となりました。</p>
318	<p>なかなか言葉が出てこず、同級生たちとも話せない生徒がおり、その子と話すために学級の生徒、一人一人との交換ノートを始めました。毎日学級生徒全員のノートに返事を書くのは大変でしたが、その生徒もノートの中ではいろいろな話をしてくれたり、学級の生徒が休んだときにはその生徒を気遣う優しさをみせてくれ、彼をよく知ることができました。交換ノートがなければその生徒とゆっくり話すことはできなかったかもしれません。その生徒もノートのことをとても喜んでくれていたとお母さんから聞きました。忙しい毎日の中でも直接でなくても生徒とのコミュニケーションを大切にしたいとあらためて思わせてくれた生徒でした。</p>	319	<p>私はこれまでに数多くの子供たちに出会って来ましたが、その中でも心に残っているのは、いつも誰かのために一生懸命で、周りの友達やクラスのために行動してくれた子と、その友達です。その子は誰かに認められたいから行動するのではなく、思いやりと奉仕の心1つで行動し、いつの間にか周りの子供たちの心を動かしていました。そして、何をやるにしてもその子を中心として自分たちで行動出来る集団になっていきました。そのことから、思いやりの心と何事にも一生懸命になることの大切さを改めて学ばせてもらいました。今では、気づき、気配り、思いやりは、私の学級のモットーとなっています。</p>
320	<p>10年以上前に出会った中学生の男の子。お母さんは精神的に患っておられ、本人も強めの吃音があり、不登校になっていました。でもいろんな才能があり、考えもしっかりしている生徒でした。最初出会った頃は自己紹介で自分の名前を言うのにも時間がかかる場面があり、彼の将来を少し心配していました。卒業を迎えた時、卒業の挨拶を大勢の前で話す機会があり、一度もどもることなく立派な挨拶を披露してくれました。その時の感動は多くの人の涙をさそっていました。今でも忘れられない感動的な場面です。もう彼は成人してる年齢だと思いますが、きっと大きく成長しているのかなと想像しています。</p>	321	<p>自分たちで目標を決めてそれに向かって頑張っていく子どもたち友だちの頑張りを見て応援してる子どもたち あーもうだめかなって思ったとき 友だちの頑張りを見てもう一度前を向く子 ダメになりそうなのに声をかける子 みんなで頑張る子どもたちに何度 感動をもらったことでしょう 失敗してもいい失敗を取り戻すためにまた前を向いて頑張った子どもたち 私の宝物です 時折顔を見せてくれたり、LINEで繋がったり、自分の子どもの写真付きの年賀状で楽しませてくれたり、ツムツムで私なんかよりずっと点数高かったり でもいつまでも応援していきたいです</p>
322	<p>卒業式の時、式が終わり退場した子どもたち全員が突然式場に戻ってきて、「校長先生、ありがとうございます。」と言ってプレゼントをくれました。保護者たちも子どもたちに協力して、式場全体がとても温かな空気に包まれました。毎朝校門で子どもたちを出迎えたことや、休み時間などに子どもたちと話したり、遊んだり、時には授業もしたりしたことが子どもたちにはとても嬉しいことだったようです。校長先生にサプライズで感謝の気持ちを伝えたいと保護者に相談し、保護者たちも協力して、卒業式当日にそれを実行してくれました。校長冥利に尽きる出来事でした。</p>	323	<p>忘れもしません。校外からも講師の先生をお招きしての研究授業の最中。いきなり胸ぐらを掴みあった男の子と女の子。怒鳴りながら殴りあって……その学年の歴代担任の先生方は、いつも御苦労なさっていました。ところが、歌うことは大好きな子供たちでした。大きな口を開け、何曲も歌っていました。中学生になっても、先生方の御指導により、素晴らしい合唱をしていると校長先生が、誉めていてくださっていました。彼らも もう二十歳を越えました。幸多い人生を歩んでいて欲しいです。今も、私のメールアドレスには、彼らと一緒に歌った合唱曲の歌詞が含まれています。</p>
324	<p>今年度異動した現任校(前任校の隣の小学校)で遠足の引率をしていた帰り道、昨年度担任した子どもたちが私が引率しているところを見つけて、「和田せんせい」と、大きな手で手を振ってくれたことです。今年度の離任式は、ビデオ録画で、実際に「さようなら。」をいうこともできず、子どもたちにとっては、突然の別れになってしまったにもかかわらず、とても嬉しそうに声をかけてくれました。10年間勤務した学校だったので、コロナ禍でなければ、いろいろ最後にみんなに「ありがとう」を伝えたくったのですが、そんな形で出会い、先生冥利につきるなーと感動しました。</p>	325	<p>教師になりたての頃、まだ土曜日が半ドンのときです。ある男のこが家に帰る途中でおながが空くので、お好み焼きやに寄り、つけで食べて帰っていたのです。たまたまそのお店に私たちがお昼を食べに行くと鉢合わせになりました。なんとという子どもだと思ひ驚きました。もう1つは、生活科で春探し(2月くらい)にやったときに、子どもが急に私に向かってあほ、あほと叫んだのです。なにを言うのかと怒ろうと思っていたら、ポケの花を指差していました。本人は、ちゃんと見つけたよと私に伝えていたのです。でもあほじゃなくてポケでした。もう大笑いしました。</p>

326	<p>現在、3人目の育児休暇中です。3人目妊娠中は、2年生の担任をしていました。妊娠中はつわりがひどく、何とか出勤している状態でした。そんな中でも、クラスの児童は2年生なりに私を気づかってくれました。</p> <p>検診に行った翌日は、赤ちゃんのエコー写真を見せたり、赤ちゃんの大きさを伝えると、「えーっ、3cm?!」と、素直なリアクション。「みんなもこんなに小さかったんだよ」と話すと、またまたびっくり、可愛い反応。</p> <p>そんな彼らも、もう高学年です。私が復帰したら、大きく成長した子どもたちに再会できるのを楽しみにしています。</p>	327	<p>以前中学校で不登校になっていた子供に、保健室からできる事として、あなたの事忘れてないよ思っているよと言うメッセージとしてカードや手紙を担当を通じて渡してもらっていました。返事が来る事はなかったのですが、数年後偶然買い物で出会ったときに、先生お手紙ありがとう。嬉しかったよ。お返事できなかったけど読んでいたよ。って言われました。高校から大学まで進んで資格もとって、頑張ってくれた事嬉しく思います。担任でなくてもできる事があるんだ、思いを届ける事は大事なんだと感じさせてくれた出来事でした。</p>
328	<p>1年の福祉教育学習で、盲導犬を使用する視覚障害者をゲストに迎えました。子どもたちは玄関から2階の自分たちの教室まで安全に迎えたいと話していました。当時は5校時の学習です。給食後の休憩時間には階段の手摺にゴミや手に傷つける異物がないか雑巾で確認拭きを念入りにしました。掃除時には廊下や階段、踊り場が濡れていないか何度も確認しました。視えない人の不安な気持ちを考え、自分が転んだ時の痛さの経験が活動させたようです。人のこころを思いめぐらし、仲間を誘い合い行動する子どもたちでした。</p>	329	<p>1年生担任のとき、腎臓病で運動を制限された男児が入学してきました。運動は禁止。教室移動も、車椅子が必要でした。その為副担が付くことになりました。とこへ行くにも、おんぶか車椅子。大変でした。でも、副担の先生が、男性だったので助かりました。大変でしたが我が子をおんぶしているようで、懐かしかったです。成長するに連れ、運動の範囲が増え、自力で学校生活が出来るようになっていきました。中学校では吹奏楽部に入り、大学でも活躍し、演奏会にも招待されたりして、成長を目の当たりにして感動しました。</p>
330	<p>結婚した当時、3年生を担当していたのですが、その子ども達のことを忘れられません。私を喜ばせようと、子ども達だけで、サプライズで結婚のお祝いを企画してくれたり、手作りのプレゼントを用意してくれたりしました。さらに、4年生や5年生、6年生になっても結婚1年祝い、結婚2年祝い、結婚3年祝いと、担任では無いのに、毎年サプライズを用意してくれていました。そんな子ども達ももうすぐ20歳で、2023年の成人式の日にもう一度再会しようと、タイムカプセルを埋めています。今からとても楽しみです。</p>	331	<p>今の園に着任して1年目にもったクラスの子どもたちです。元気いっぱい、個性豊かな子どもたちで、それぞれの子どもたちを大切にしながらクラスをまとめることは本当に大変だったけれど、子どもたちのまっすぐさに支えられ、励まされました。一緒に学年をあげ、最後の運動会是一緒に頑張れた良い思い出です。卒園を迎える頃には立派になって、とても嬉しかったです。今でもよく思い出します。あの子たちが小学校最後の運動会も見に行きました。きつとずっと心に残る子どもたちです。</p>
332	<p>過敏性が高く、いつも耳に手を当て、震えていた子がいました。それでも、みんなと楽しく勉強したいと言う気持ちがあって、少しずつ少しずついろんなことができるようになってきました。修学旅行の時、その時流行っていた曲が流れると、友達みんなが踊りだし、その楽しいふいんきにつられて、その子も笑顔で踊り出しました。それから、緊張が高まることが少なくありませんでしたが、安心できる人との関わりの中で、できることが増えてきました。今は、神戸の施設で、穏やかに暮らしています。</p>	333	<p>部活において、辛く厳しい日々の練習であったが、各々が試合のために、何が不足しているのか、試合に勝つためにはどういう試合の仕方が必要なのかを見つめ、話し合いを繰り返し、先輩のため、後輩のため、自分のため怪我を隠して練習に取り組んだ。近畿大会出場を目標にみんなで声を掛け合い、切磋琢磨をしていた。結果、団体戦で県三位となり、近畿大会に出場することができた女子5人。後にも先にもこの5人を超える部員に出会ったことがない。</p>
334	<p>コロナ禍でいろいろな行事が十分にできなかったが、子ども達は制限された中で、いろいろと工夫して運動会や修学旅行を楽しんでいた。学校が閉校になったときも、子ども達はオンラインで授業に参加し、新しい授業の形態を楽しんでいた。どんな状況でも、その状況を楽しみながらがんばっている姿を見て、自分もがんばろうと思った。子ども達の笑顔や元気な声が、コロナで大変な一年ではあったが、毎日、私を勇気づけてくれた。みんなありがとう。</p>	335	<p>初めて赴任して、担任した学年、2クラスの生徒たち。卒業させてから45年。毎年ではないが、よく同窓会を開いてくれています。その子達も、昨年から今年にかけて、還暦を迎える年だったので、同窓会開催予定でしたが、コロナ禍の為、開催できずです？退職後、習い始めた一刀彫で健康長寿を願い、干支の丑寅を2クラス分作製してたのが、届けられず仕舞いになっています。一日も早いコロナ収束を願う次第です。</p>

336	<p>担任をしている時、人と関わることの苦手な不登校の子どもの家定期的に邪魔していた。なかなか、会うことも出来なかったが1年が経つ頃、顔を見せてくれるようになった。関係が少しできた頃、私の転勤が決まった。そのことを伝え、次の担任にバトンを渡した。しかし、後に私が来ることを待っていたと聞かされ、なんとも言えない気持ちになった。その子どもも成人し、元気に過ごしていると聞き、少し安心している。</p>		337	<p>ヤングケアラーが問題になっています。40年前になります。不登校の子がいて、家庭訪問に行きました。曾祖母と幼児が同居していました。医師に曾祖母の薬をもらいに行くのと、幼児の世語で登校できないということでした。幼児を学校に連れて来てもいいということ、本当に連れて来ました。養護の先生のお世話になりました。当時は、びっくりの毎日でしたが、今となっては懐しい思い出です。</p>
338	<p>退職直前に職場に電話をくれた教え子がいます。彼は中学2年の時に荒れた生徒でした。「先生には、自分が胸はって恥ずかしくない生き方ができるようになるまで、連絡しないでおこうと思っていました。今は結婚し娘もできました。しっかり働いています。」本当に嬉しく胸が熱くなりました。あのとき、必死になって彼に向き合い、無視されても話をし続けたことが良かったのだと思いました。忘れずにいてくれていました。</p>	339	340	341
342	<p>事務職員ですが、授業中に抜けて職員室にやってきた特別支援の子どもをおんぶして、3階の教室まで連れて行き、一緒に授業を受けた事が印象に残っています。また、糖尿病1型の子が、休憩時間と給食前に血糖値を測定に来るのですが、その結果により、職員室にある保管しているジュースや持参した小さなおにぎりを飲食するため、付き添っておしゃべりした事が懐かしく思い出されます。</p>	343	344	345
346	<p>全く日本語が話せない外国籍の子や新渡日の子が友達に支えられて、日本語を学び取り笑顔になっていく姿が忘れられません。そのうちの1人が持っていた思い出が詰まったDVDを見せてもらった時、普段と全く違った印象で衝撃的でした。録画されていた外国時代の笑顔にどんどん近づいていく様子はとても嬉しかったです。</p>	347	348	349

350	研修で訪問した幼稚園で、いろみずあそびとシャボン泡遊びを隣り合わせてしていた子ども。アサガオからつくったいろみずをコップに分けている時、いろみずと泡が混ざり、色が変化しました。コップにいろみずを分けるたび、比率が変わり、「おんなじ色にならない」と悩んでいる姿に、遊びの奥深さを感じました。	351	35年前、中学生のダンス発表会にその頃珍しかった男子のグループを引率して参加したこと。とても自主的な子で、家の前の道路に段ボールを敷いて練習してたとか。後から保護者の方に聞いて驚くやら、感心するやら。保護者の方々も気持ちよく新米教師にご協力くださり、無事参加し、堂々と発表できました。	352	コロナ禍で、文化祭や体育祭が中止になり、生徒会が中心となり、中庭にアンブレラスカイと称して色とりどりのビニール傘を吊るしてくれたこと。企画から実行まで念入りに計画し、太陽光でさらさら七色の影が中庭を明るく照らしていました。いつ終息するのか先の見えない中で、希望の光のように感じました。	353	ハリーポッターが流行っていたときに、給食の時間にお箸を振り回しながら死の呪文を掛け合っている子どもたちがいて、アホやなあ～と思っていたら私にもかけてきて、呪文をかけかえした思い出があります。その後みんなで大爆笑でした。あの子たちももう大学生なんだと思うと感慨深いものがあります。
354	先日、とても寒い日の朝、子どもたちの元気な声が校庭からたくさん聞こえてきました。その声につられていってみると、それは凍った池の水を触って驚く1年生の子どもたちの声でした。池の氷や冷たい雪など、感性の豊かな子どもたちが身近な自然を体験することの大切さを、改めて感じました。	355	愛着障害の疑いがある生徒との日々。気分のムラでどうするともできない生徒がとんでもないことを起こすこと多数。境界性パーソナリティー障害の疑いがある生徒とは、警察沙汰も含めいろいろと振り回されましたが、両者とも最後まで可能な限り寄り添う姿勢を貫けたと思う。	356	冬になると体育で縄跳びをしました。縄跳びカードのクリアを目指して子どもたちは頑張っていました。跳べないお友だちが、歩きながら縄を回すと跳べることを発見した子どもたちが、一緒に歩きながら跳べたことが嬉しくて、みんなで拍手したことを思い出しました。	357	マラソン大会の日、始まる直前まで出るとか出ないと保健室でグズグズ言っていた6年生の男の子。「走ったら俺は1位や」と言うので「口では何でも言えるわな」と言う私に、「ほな待っとけよー」と保健室を飛び出しマラソン大会に参加して、本当に1位で帰ってきました！
358	現在担当している特別支援学級の子どもたち。ストレートに自分の気持ちをぶつけてきます。うまくいかないことだらけの毎日ですが、根気よく生きていく上で大切なことを伝え続けています。好きだよという気持ちもストレートに表してくれるので、可愛くてたまりません。	359	言うことを聞かず、すぐふくれたり投げやりになったりした子がいて、とことん真剣に関わり叱ったり本音を言い合ったりした子が、卒業時には涙してありがと、言ってくれた学年でした。他にも課題がたくさんありましたが、最後の6年担任となり、思い出深いです！	360	父母とも聾啞者の男の子を担当させてもらったことがありました。6年生として下級生の面倒をよく見るので、下級生たちから慕われていました。同級生からの信望も厚く、面倒見のいい男の子でした。今まで担任させてもらった子どもの中では、一番印象に残る子です。	361	欠席連絡をくれた生徒の言葉。母親が昨夜から帰ってきません。妹(3才)の面倒を見なければならぬので、休みます。家庭環境が複雑で、その中で一生懸命学校へ来ていた生徒です。ほとんど休まない生徒でした。一番切ない欠席理由でした。
362	最初に勤務して、初めて担任した生徒。緊張していたが生徒たちに助けられたことがいっぱいです。自分でもニックネームをつけられて呼ばれるのが理想の教師だと思っていたが、いまだに会えば当時のニックネームで呼んでくれて当時の思い出話をできています。	363	児童が意図せずノートの山を落とす→自分で拾う私「ありがとう」児童「自分が落としてんから普通やん」この児童は2年前も担任をしたが、その時なら「なんで拾わなあかんの？」と言っていたであろうに、成長したなと感じました。	364	東日本大震災のニュースを知って、自分たちに何かできないかを考えて企画書を作り、全校に募金活動を提案した子どもたちのことです。自分たちにできないことがないかとすぐに動き始めた子どもたちを誇らしく思い、担任させていただけたことに感謝しました。	365	先生とは、先に生きるって書くんですね！先生の生き方からまたばせてもらうことが一番多かったです。ありがとうございました。と、卒業式前日に半紙に先生と書いてくれた子供がいました。その時のことは今でも鮮明に心に残っています。

366	前任校での部活の子どもたちです。高い志を持ち、不器用ながらも常に一生懸命に努力をしていました。その結果、素人で始めたにも関わらず、奈良県で優勝し、全国大会にまで出場しました。人の可能性を改めて感じさせてくれた、自慢の子どもたちでした。	367	コロナ禍でたくさん制限がある中、工夫して行われる様々な行事を通して、日々成長する子どもたちの姿に日々喜びを感じています。できなかったことができるようになった！苦手だけど挑戦してみる！そんな子どもたちのパワーに感動しっぱなしです。	368	リレーで、カー杯走ったり転んでも靴が脱げても走り続ける姿買っても負けても素敵だなと思いますもうすぐ進学や進級頑張った子どもたちの姿を思い返しますパーテーションなしでご飯が食べられるぐらいコロナが落ち着いて欲しいです	369	感性が豊かで元気な1年生。国語の「大きなかぶ」の学習で、かぶがぬけなかったときのおじいさんの気持ちをプリントに「あかんか。」と書いていて、思わず笑ってしまいました。確かに。と思いました！その子達も春から高校生！
370	給食をたくさん食べてくれた生徒はとても印象的でした。毎食ご飯をお代わり。違うクラスに給食の余りを貰いに行ったこともいい思い出です。ご飯を美味しそうに食べてくれた生徒も、ついに高校を卒業。感慨深いものがあります。	371	週に3日だけ支援員として子どもたちと関わっています。特別支援学級の子もたちはとても素直です。たまに顔を出す私にも今度はいつ来てくれるの？また、来てね。と言ってくれます。彼女たちの笑顔がわたしにとっては元気のもとです。	372	1年生で担任した子どもたちを、6年生でも担任させてもらったこと。何をしていても成長がよくわかり、感激しながら毎日過ごすことができた。充実した一年間だったので、卒業したあと、しばらく6年生ロスになるほど寂しかった。	373	6年生を担任したとき、卒業式までの間クラスのみみんなで先生に向けてサプライズをしようとして何度も話し合い、時にはうまくいかず悩んだり…何かを成し遂げたいと一生懸命声をあげて頑張る子どもたちの姿が今でも印象に残っています。
374	38年間の教員生活の中で多くの子どもたちと出会いました。「先生はいつまでも子どもの心がわかる先生でいてください」初めての赴任地で女生徒からもらったこの言葉が、私の教員生活の糧であり、理想でした。	375	4月当初、入学したばかりの期待と不安が入り混じった新入生達も今は毎日元気に楽しく過ごしています。コロナで学級閉鎖が相次いでいるが、ソーシャルディスタンスを保ちつつ学校生活を送っています。	376	転勤したばかりの小学校で、担任した5年生の子どもたちが、担任の先生を紹介するテレビ番組に応募しました。テレビ局から撮影に来られ、5年2組のみんなどと一緒にテレビに映り、楽しい1年間を過ごしました。	377	毎日のようにやんちゃをしていた6年生が、3月には、低学年の時の様子を思い返し、自分たちを振り返る劇を作り、また一人一人将来への決意を入れて、6年生を送る会で見事に面白おかしく立派に演じていた事。
378	ことばの理解が難しく、伝えたいことを伝えることばも知らない子。でも、友だちが大好きで、学校が大好き。毎朝、大きな声で挨拶をして笑顔いっぱい、一緒にいると元気をもらっています。	379	十年前の卒業生・3年F組の生徒達。クラス一丸となって、勉強その他に取り組み、人間的にも大いに成長した。進路としても、クラス三十数名のうち、浪人も含めてではあるが、16名が医師薬系に合格した。	380	コロナ禍の中、行事も少なくなっています。運動場で楽しく遊んでいる姿を見ると嬉しく思います。感染対策の手洗い、消毒も、きちんとおこなっています。コロナに負けず頑張ってください。	381	米粒を1-2粒づつ食べるような子が、身体と心の成長に伴い、スプーンで、箸で、パクパク食べるようになり、卒業する頃にはおかわりをして、昼休みを楽しむように？変化成長を見せてくれました。
382	なかなか落ち着かず騒がしいので、叱られることも多かったはずなのに、すごく慕っている子どもたち。不登校傾向があった、より深く関わった子どもたち。が、忘れられない子どもたちです。	383	学年2クラスだったが、学級を解体して、授業や活動を行った。そんな子どもたちは、何事も一生懸命で、笑顔いっぱい、学校のため、学年のため、身を粉にして頑張る子どもたちであった。	384	若気の至らない私に反発して部活をやめていった生徒たち。そんな中、一人だけ残ってくれた生徒がいました。結局皆戻って来てくれましたが、友達に左右されずにいてくれた生徒に感謝です。	385	ソウル日本人学校のこども達が、忘れられません。周囲との適応力が自然に身に着いていて、常に世界情勢に目を向けていなければならない環境で、何事にも工夫と意欲が見られました。

386	<p>中学3年生で、悪さばかりする2人でしたが、ある寒い日水たまりにできた氷を「ほら見てー！」と2人で持って登校してきました。まだまだ幼い2人にいろいろと考えさせられました。</p>	387	<p>家庭訪問の時、自転車で次の家まで連れて行ってくれ、だんだん列が増えて最後はみんなであそんだ。若いころのどすいぶん前のことですが、昔は余裕があったんだなあと思いました。</p>	388	389	<p>動物が大好きなmくんカエルをじっと見つめて形を捉えたのか一心に書きつけて独特なタッチの絵を完成させました。おとなになった今でも創作活動をしているようです。</p>
390	<p>退職して暫くしてから、支援員として勤めることになり、教室に入ると不思議そうな顔をしながらも(田中先生)とにこやかに迎えてくれました。思わずエアータッチしあいました。</p>	391	<p>児童集会や芸術鑑賞会のあとで、司会者から「質問や意見はないですか？」と問われると、誰もいない中で必ず手を挙げて発表する微笑ましいキャラクターの児童が忘れられません。</p>	392	393	<p>バレー部に所属している生徒たち。卒業してもまた部活に来てくれる。3年間一緒に練習してきたのつながりが、卒業しても続いていくのだと思います。ステキな生徒たちです。</p>
394	<p>大切なクラスメイトが病気で亡くなり、悲しみを抱えた中での登山でのこと。頂上で泣きながらその子の名前を大声で叫んだ子どもたちの姿は、今でも目に焼き付いています。</p>	395	<p>最近歴史にハマっていて「ぼくの半兵衛さん」と言いながら歴史の本を読んでいる子がいます。周りの子たちから、「初恋の人は半兵衛さんやな」とつつこまれています。</p>	396	397	<p>いつも威勢のいい中3男子。今日は朝からドキドキ不安な顔して受検へ向かいました。私よりも背の高い生徒のなんとも子どもらしい一面がかわいかったです。</p>